



# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月14日

上場会社名 サンユー建設株式会社  
コード番号 1841 URL <http://www.sanyu-co.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 宏二郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 下瀬川 泰

TEL 03-3727-5752

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	9,842		1,704		1,706		764	
30年3月期第3四半期								

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 749百万円 ( %) 30年3月期第3四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	216.50	
30年3月期第3四半期		

(注)平成31年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	13,779	10,648	77.3
30年3月期			

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 10,648百万円 30年3月期 百万円

(注)平成31年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年3月期の数値は記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		10.00		15.00	25.00
31年3月期		10.00			
31年3月期(予想)				15.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700		1,400		1,420		550		155.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)平成31年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率は記載しておりません。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	4,000,000 株	30年3月期	4,000,000 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	464,190 株	30年3月期	476,457 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	3,530,375 株	30年3月期3Q	3,523,657 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり国内景気は緩やかに回復してきました。一方で海外経済の通商問題の動向及び影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動等について慰留する必要性があり、依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、企業収益の改善により設備投資は増加し、住宅建設はおおむね横ばいで推移しましたが、公共投資はこのところ軟調傾向にあります。建設技能労働者不足や建設資機材価格等の上昇により建築コストの緩やかな増加が懸念されるなど、予断を許さない経営環境が続きました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は9,842百万円、営業利益1,704百万円、経常利益1,706百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益764百万円となりました。

なお、当社グループは第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### [建築]

建築事業につきましては、受注高4,519百万円、完成工事高5,324百万円、同総利益543百万円となりました。

#### [不動産]

不動産事業につきましては、不動産事業収入3,771百万円、同総利益1,530百万円となりました。

#### [金属製品]

金属製品事業につきましては、金属製品売上高328百万円、同総損失8百万円となりました。

#### [ホテル]

ホテル事業につきましては、売上高418百万円、同総損失6百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、13,779百万円となり、流動資産合計6,039百万円、固定資産合計7,740百万円となりました。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金3,491百万円、販売用不動産1,080百万円であります。

固定資産の内訳は、有形固定資産6,965百万円、無形固定資産245百万円、投資その他の資産529百万円であります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、3,130百万円となり、流動負債合計2,051百万円、固定負債合計1,079百万円となりました。

流動負債の主な内訳は、支払手形・工事未払金等596百万円、短期借入金516百万円であります。

固定負債の主な内訳は、社債210百万円、退職給付に係る負債234百万円であります。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、10,648百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月18日の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,491,821
受取手形・完成工事未収入金等	649,261
未成工事支出金	80,526
販売用不動産	1,080,593
不動産事業支出金	607,901
商品及び製品	18,041
原材料及び貯蔵品	41,623
仕掛品	7,799
その他	66,102
貸倒引当金	△4,050
流動資産合計	6,039,620
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	2,273,329
構築物（純額）	26,985
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	114,220
土地	4,518,816
リース資産（純額）	31,744
有形固定資産合計	6,965,096
無形固定資産	
のれん	190,086
その他	55,524
無形固定資産合計	245,611
投資その他の資産	
その他	529,537
貸倒引当金	△40
投資その他の資産合計	529,497
固定資産合計	7,740,205
資産合計	13,779,825

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成30年12月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形・工事未払金等	596,967
短期借入金	516,008
未払法人税等	241,592
未成工事受入金	265,175
引当金	30,640
その他	401,163
流動負債合計	2,051,548
固定負債	
社債	210,000
長期借入金	18,478
退職給付に係る負債	234,340
その他	616,516
固定負債合計	1,079,335
負債合計	3,130,883
純資産の部	
株主資本	
資本金	310,000
資本剰余金	314,023
利益剰余金	10,366,770
自己株式	△387,240
株主資本合計	10,603,554
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	45,388
その他の包括利益累計額合計	45,388
純資産合計	10,648,942
負債純資産合計	13,779,825

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	
完成工事高	5,324,250
不動産事業売上高	3,771,874
兼業事業売上高	746,097
売上高合計	9,842,222
売上原価	
完成工事原価	4,780,793
不動産事業売上原価	2,241,300
兼業事業売上原価	760,724
売上原価合計	7,782,818
売上総利益	
完成工事総利益	543,457
不動産事業総利益	1,530,573
兼業事業総損失(△)	△14,626
売上総利益合計	2,059,404
販売費及び一般管理費	354,488
営業利益	1,704,915
営業外収益	
受取利息	148
受取配当金	7,802
その他	3,661
営業外収益合計	11,612
営業外費用	
支払利息	4,272
社債発行費	6,024
その他	40
営業外費用合計	10,336
経常利益	1,706,190
特別利益	
固定資産売却益	3,442
特別利益合計	3,442
特別損失	
役員退職慰労金	618,216
固定資産除却損	1,247
特別損失合計	619,464
税金等調整前四半期純利益	1,090,169
法人税、住民税及び事業税	322,091
法人税等調整額	3,735
法人税等合計	325,826
四半期純利益	764,343
親会社株主に帰属する四半期純利益	764,343

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	764,343
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△15,067
その他の包括利益合計	△15,067
四半期包括利益	749,275
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	749,275
非支配株主に係る四半期包括利益	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より行方建設株式会社の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成30年6月27日開催の第69回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給額の未払分50,383千円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	建築	不動産	金属製品	ホテル	計	
売上高						
外部顧客への売上高	5,324,250	3,771,874	328,068	418,029	9,842,222	9,842,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	5,251	—	5,251	5,251
計	5,324,250	3,771,874	333,319	418,029	9,847,474	9,847,474
セグメント利益又は損失(△)	543,457	1,530,573	△8,331	△6,294	2,059,404	2,059,404

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,059,404
全社費用(注)	△354,488
四半期連結損益計算書の営業利益	1,704,915

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。